

現地からお届けするオンラインフォーラム

2022年度

障がい者の働く場 パワーアップフォーラム

「人は自立して生活することで幸せを感じられる」

高工賃への
あくなき挑戦



開催のご案内

障がい者の仕事づくりや働く場に関心のある方々の幅広いご参加をお待ちしています。
※オンラインフォーラムにつき、直接会場へのご来場はご遠慮ください ※オンラインフォーラムでは文字通訳を実施します

滋賀会場

9月22日(木) 13:00~16:00

会場: 社会福祉法人共生シンフォニー

成功事例から学んで、
ポストコロナの販売方法を探っていこう!

宮城会場

11月25日(金) 13:00~16:00

会場: 社会福祉法人はらから福祉会

障がいの重い人にも
高い工賃を実現する支援方法を学ぼう!

主催

公益財団法人ヤマト福祉財団

〒104-8125 東京都中央区銀座2-16-10

\\ お待たせしました /

障がい者の働く場パワーアップフォーラム

2023年1月12日(木) 東京でリアル開催します

オンラインセミナー同時開催

障がい者の働く場パワーアップフォーラム 大阪会場 2019年8月23日

「人は自立して生活することで幸せを感じられる」 高工賃へのあくなき挑戦

講演者の生の声を聞いて、一緒に学べる機会です。
みなさんの参加をお待ちしています。

東京会場 開催概要

障がい者の仕事づくりや働く場に関心のある方々の
幅広いご参加をお待ちしています。



日程 | 2023年1月12日(木) 会場 | 東京都立産業貿易センター浜松町館 4階【北】

時間 | 10:00~16:30 定員 | 150名 参加費 | 無料 情報保障 | 手話通訳と要約筆記を実施します

プログラムの詳細は10月にお知らせします。募集開始は10月1日よりヤマト福祉財団ホームページから参加登録をお願いいたします。

2023年度 ヤマト福祉財団助成金募集

応募期間 2022年10月1日(土)~2022年11月30日(水)

助成金の種類	助成額	
障がい者給料増額支援助成金	50万円~上限500万円	障がい者の給料増額に取り組む事業所・施設に対し、さらに多くの給料を支払うための事業の資金として助成します
障がい者福祉助成金	助成総額 2,000万円 (予定) [上限100万円]	会議・講演会、ボランティア活動、スポーツ活動・文化活動、調査・研究・出版など、障がいのある方の幸せにつながる事業・活動に対して助成します

お問い合わせ

パワーアップフォーラム事務局(ヤマト福祉財団内) 電話:03-3248-0691 FAX:03-3542-5165

公益財団法人ヤマト福祉財団

〒104-8125 東京都中央区銀座2-16-10

プログラム 滋賀会場 9月22日(木)

成功事例から学んで、ポストコロナの販売方法を探っていこう！

13:00	主催者挨拶	
13:05		本日のプログラムのご案内
13:10	ホスト講演 ビデオ事業所紹介	私たちの軌跡と 高工賃への取り組み 社会福祉法人共生シンフォニー 常務理事 中崎ひとみ がんばカンパニー 所長 水野 武 はっぴいミール・ほわいとクラブ 所長 荷宮将義 共生シンフォニー 事業所紹介ビデオ がんばカンパニー はっぴいミール ほわいとクラブ
13:50	講演	障害のある人の働く意味 ディーセントワークの視点を踏ま えて 私たちに問われること NPO法人日本障害者協議会 代表 藤井克徳
14:20	ゲスト報告1	認定NPO法人麦の会 コッペ 代表理事 飯嶋 茂
14:40	ゲスト報告2	社会福祉法人平成会 多機能型 事業所あさひ サービス管理責任者 岩岡智之
15:00	休憩(10分)	
15:10	シンポジウム	テーマ：さらなる高工賃を目指 し新たな販路への挑戦、取り組 みについて ゲストから、共生シンフォニー事業所 の見学レポート シンポジスト 中崎ひとみ 飯嶋 茂 岩岡智之 コーディネータ 藤井克徳
16:00		終了

プログラム 宮城会場 11月25日(金)

障がいの重い人にも高い工賃を実現する支援方法を学ぼう！

13:00	主催者挨拶	
13:05		本日のプログラムのご案内
13:10	ホスト講演 ビデオ紹介	より障害が重い人を働き手に ーチーム化、機械化、意識化を通 してー 社会福祉法人はらから福祉会 理事長 武田 元 障がいの重い人への高工賃実現 のポイント「チーム化」「機械化」 「意識化」を、事業所で撮影した ビデオを交え具体的に紹介しま す。
13:50	講演	障害のある人の働く意味 ディーセントワークの視点を踏ま えて 私たちに問われること NPO法人日本障害者協議会 代表 藤井克徳
14:20	ゲスト報告1	社会福祉法人オリーブの樹 理事長 加藤裕二
14:40	ゲスト報告2	社会福祉法人かしのみ福祉会 理事長 小俣弘美
15:00	休憩(10分)	
15:10	シンポジウム	テーマ：さらなる高工賃を目指 し、障がいの重い人への支援など これからの取り組みについて ゲストから、はらから福祉会事業所の 見学レポート シンポジスト 武田 元 加藤裕二 小俣弘美 コーディネータ 藤井克徳
16:00		終了

参加登録方法

ヤマト福祉財団のホームページで参加登録をお願いします。折り返し、ご登録のメールアドレスに視聴するためのURLを送ります。(当日のみ視聴可能です)

ヤマト福祉財団

検索



参加登録画面はこちらから ▶



参加登録画面はこちらから ▶

障がい者の働く場パワーアップフォーラム

主催：公益財団法人ヤマト福祉財団 2021年9月10日

2022年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム 「人は自立して生活することで幸せを感じられる」

メッセージ

公益財団法人ヤマト福祉財団
理事長

山内 雅喜



この2年間、コロナウイルスの影響によりみなさまもたいへんご苦労されたと思います。今回は、私も現地に同行します。どのような課題があるのか、そして将来の可能性をどう拓げていくのかニーズを捉えたいと考えています。よろしくお願いします。

メッセージ

NPO法人日本障害者協議会代表／
日本障害フォーラム副代表／
きょうされん専務理事

コーディネータ 藤井 克徳



ディーセントワーク（尊厳のある労働）の追求にあたって、工賃の水準は欠かせない視点です。しかも、障害の重い人を取り残すことなく。報告者の心と技を盗んでください。そして、いっしょに考えましょう。

プロフィール

社会福祉法人共生シンフォニー
常務理事

滋賀会場
ホスト講演

中崎 ひとみ



1964年滋賀県生まれ。息子は重度の自閉症、孫は脳性麻痺という当事者の家族。ゼネコンOLでバブルを享受した後、結婚・出産・離婚を経て、障がい者運動に。社協や団体事務局を経て1992年に無認可の小規模作業所「今日も一日がんばった本舗」入職。その後「がんばカンパニー」として事業を拡大し、2003年、小規模作業所を社会福祉法人に法人化しました。現在、法人では11ヵ所の事業所を運営。障がい者だけでなく、シングルペアレント、難病者等、就労困難者も法人内で職員として雇用できるよう事業を展開しています。その中でもA型の「がんばクッキー」では、1日最大1トンのクッキーを生産し、年商約1億3,000万円以上を売り上げ続けています。
(NPO)全国就労継続支援A型事業所協議会副理事長、等他団体役員多数。
2009年：第10回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞

プロフィール

社会福祉法人はらから福祉会
理事長

宮城会場
ホスト講演

武田 元



1942年宮城県生まれ。1966年から学校教員として31年間勤務。1979年から地域で障がい者に関わる活動に参加し「はらから会」を立ち上げます。以来、障がい者施設の建設・運営に力を注ぎ、現在法人では宮城県内に障がい者が働く場やグループホームなど20ヵ所を運営しています。
大豆加工をはじめ牛タンなど食品加工が主な事業で、年商は10億円、2021年度は約250名の利用者に平均工賃月額50,000円以上を支給。豆腐や油揚げはテレビで紹介され、牛タンは法人のある宮城県柴田郡柴田町のふるさと納税の返礼品として人気です。
2002年12月：第3回ヤマト福祉財団賞受賞、ヤマト福祉財団主催「障がい者の暮らし変革塾」塾長(2010年～2013年)、「夢へのかけ橋実践塾武田塾」塾長(2013年～2015年)、「同5万円必達塾」塾長(2015年～2017年)。

滋賀会場

9月22日(木) 13:00~16:00
会場：社会福祉法人共生シンフォニー

成功事例から学んで、 ポストコロナの販売方法を探っていこう！

共生シンフォニーは、「共生・共働・共育」を理念に、障がいのあるなしにかかわらず、就労に困難をもつ人たちが、社会で自立して普通に暮らせるように、働く職種を増やし、働く場を拡大し、高い給料の支給を実現してきました。滋賀会場では、共生シンフォニーの3つの事業所を紹介します。コロナ禍であっても、社会の変化に対応し通販に力を入れ、進化・発展を続ける原動力やその方法を探り、障がいのある人が経済的に自立し、社会のなかで暮らす現状をお伝えします。



事業所紹介

がんばカンパニー／共生シンフォニーの原点、地域に応援されるお菓子工場
はっぴいミール／安心と笑顔を届ける街のお弁当屋さん
ほわいとクラブ／自分らしい働き方に出会う場所

ゲスト2名が現地へ

コロナ禍で販売方法を探り、通販に力を入れるお二人です

認定NPO法人麦の会 コッペ
理事長 飯嶋 茂

1963年群馬県生まれ。大学の時にたまたま入所施設の知的障がいの子どもたちと遊びに行ったことが障がい者との出会いです。1988年、仙台市宮城野区でパン・クッキーの店「コッペ」を開業しました。普通のパン屋さんに障がい者が一緒に働いている、それがコッペ。国産小麦粉100%、安心安全な材料を使って一つひとつ手作りをしています。コロナでイベント販売がなくなり、新たな販売チャンネルとして「通販」を模索しています。



社会福祉法人平成会 多機能型事業所あさひ
サービス管理責任者 岩岡 智之

1974生まれ。服飾関係の企業から2002年にお父様が開設した「あさひ作業所」を手伝うようになり、2012年(社福)平成会に合併。2013年現在の竹原市に多機能型事業所あさひを開設しました。利用者さんの「カッコイイ仕事がしたい」の声を実現するために、2019年に地域の活性化の一助となるべく、チョコレート事業をスタート。利用者さんに職人のプライドが芽生えはじめています。



宮城会場

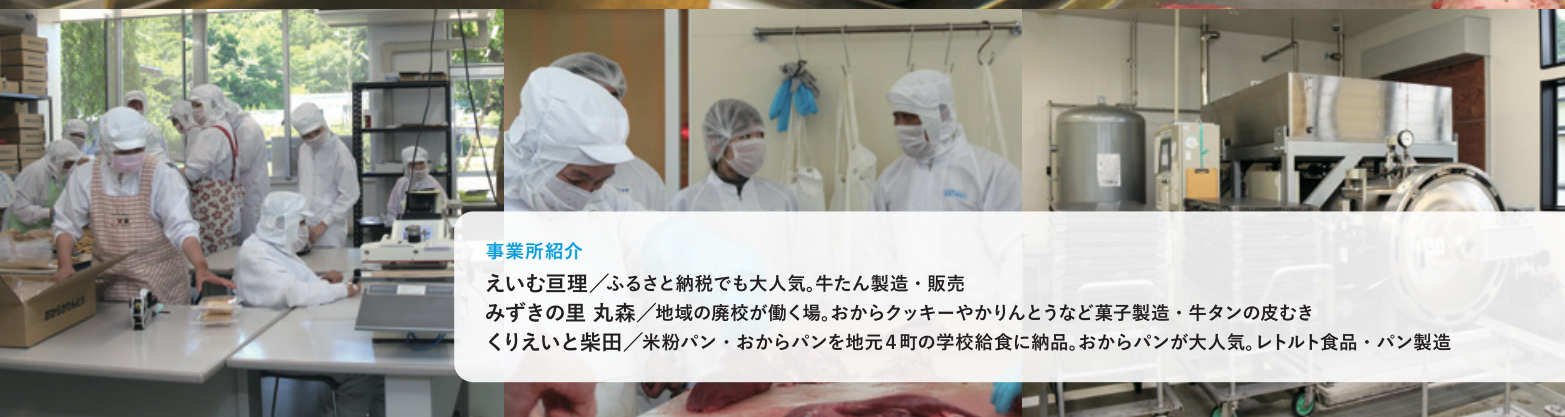
11月25日(金) 13:00~16:00
会場：社会福祉法人はらから福祉会

障がいの重い人にも 高い工賃を実現する支援方法を学ぼう！

はらから福祉会は、宮城県内にB型事業所を8ヵ所運営し、地域の重い障がいのある方をはじめ、障がいのある方が働き、自立して暮らしが送れるよう支援しています。

法人が取り組む食品加工のなかでも人気の牛タンは昨年度約4億円の売り上げがあるなど、どの事業所も、必要とされる商品を高品質に製造することで、安定した販売を実現し、平均工賃月額50,000円以上の支給を実現してきました。障がいの重い人がどのように仕事をしているのか、はらから福祉会の事業所で撮影したビデオを交え、その支援方法を「チーム化」「機械化」「意識化」という3つのポイントで紹介します。

宮城会場では、障がいの重い人も一緒に働き、高工賃をどのように実現していくのかを考えます。



事業所紹介

えいむ亘理／ふるさと納税でも大人気。牛たん製造・販売

みずきの里 丸森／地域の廃校が働く場。おからクッキーやかりんとうなど菓子製造・牛タンの皮むき

くりえいと柴田／米粉パン・おからパンを地元4町の学校給食に納品。おからパンが大人気。レトルト食品・パン製造

ゲスト2名が現地へ

食品製造に力を入れるお二人です

社会福祉法人オリーブの樹 理事長 加藤 裕二

1954年千葉県生まれ。1984年に数名のボランティアと福祉作業所オリーブハウスを開所。2000年8月にオリーブの樹を設立。現在、千葉市内に就労系事業所・グループホーム等を10ヵ所運営しています。地域にある牧場の新鮮な牛乳を使い、開設当時からクッキーや高品質なアイスクリームなどの製造を行っています。長年出店販売に取り組み、コロナ禍では直接宅配など工夫を重ね、販路を拡大しています。



社会福祉法人かしのみ福祉会 理事長 小俣 弘美

1963年山梨県生まれ。知人の紹介により入職して18年め。2007年にNPO法人かしのみを、2019年に社会福祉法人かしのみ福祉会を設立。現在、甲府市内に3事業所を運営しています。地元の山梨県産のフルーツ(ブドウ、モモ、カキ、スモモ、キウイフルーツ、ユズ等)を自社工場加工した無添加のドライフルーツ・コンポート・果肉たっぷり飲めるゼリーなどの商品が人気。通販だけでなく積極的な出店販売で販路を拡大しています。

